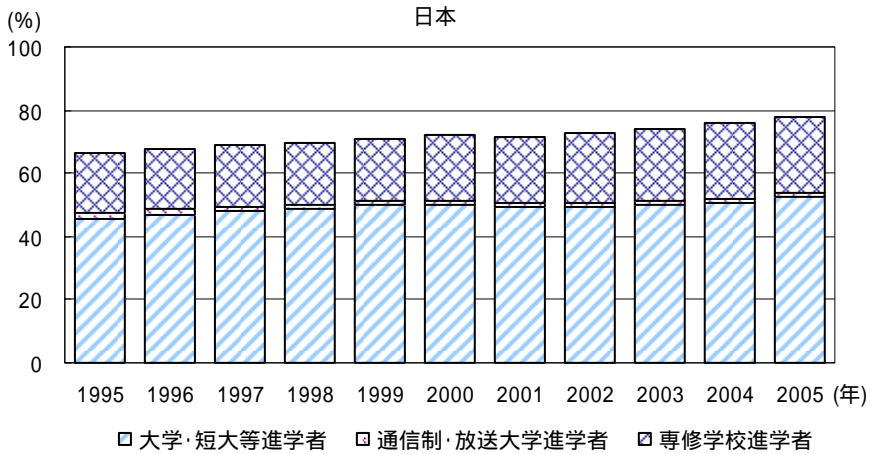
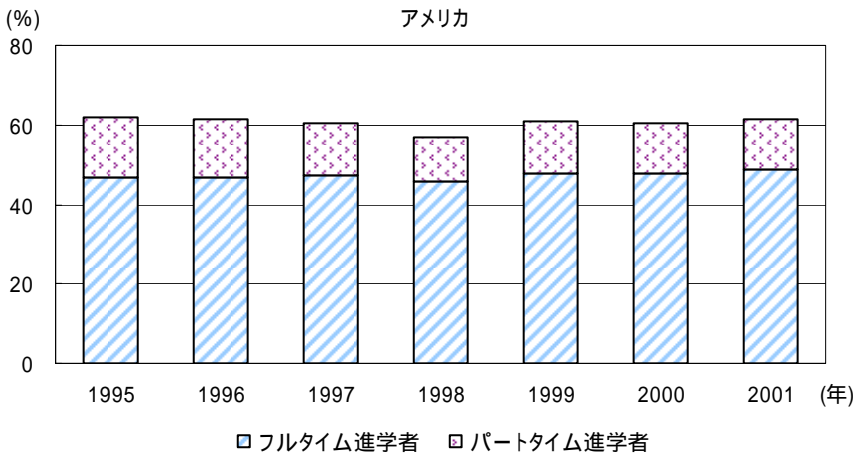


9-1 高等教育機関への進学率

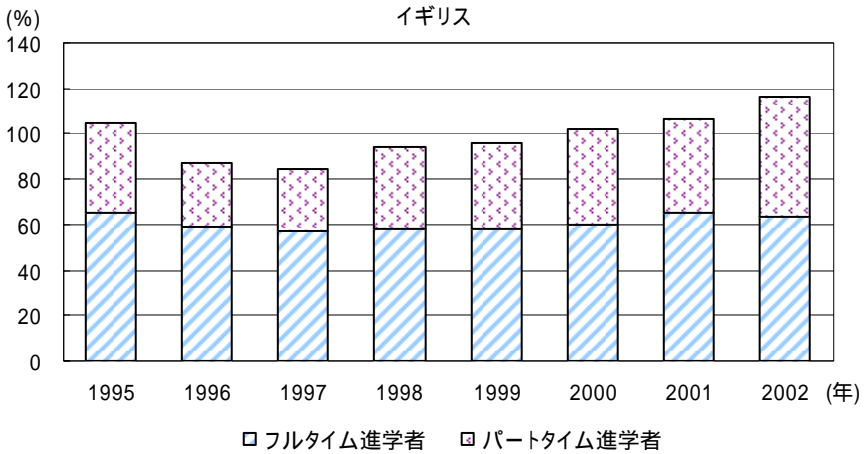


▶▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第9-1-1表 高等教育への進学率 日本(該当年齢18歳)」(p.218)参照。

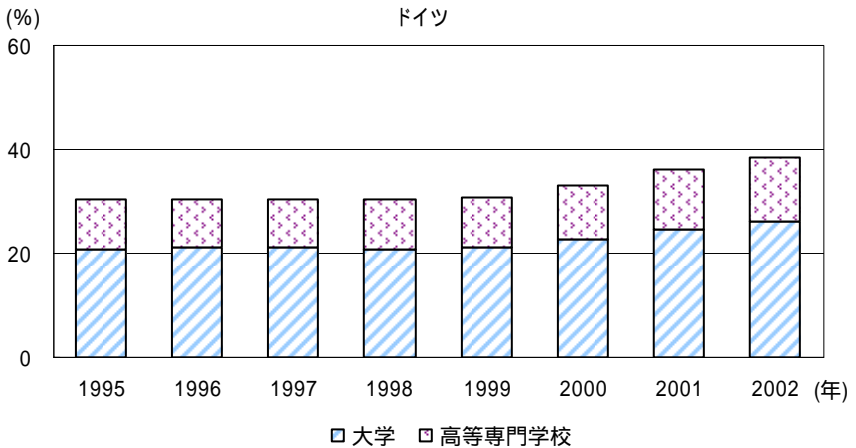


▶▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第9-1-2表 高等教育への進学率 アメリカ(該当年齢18歳)」(p.218)参照。

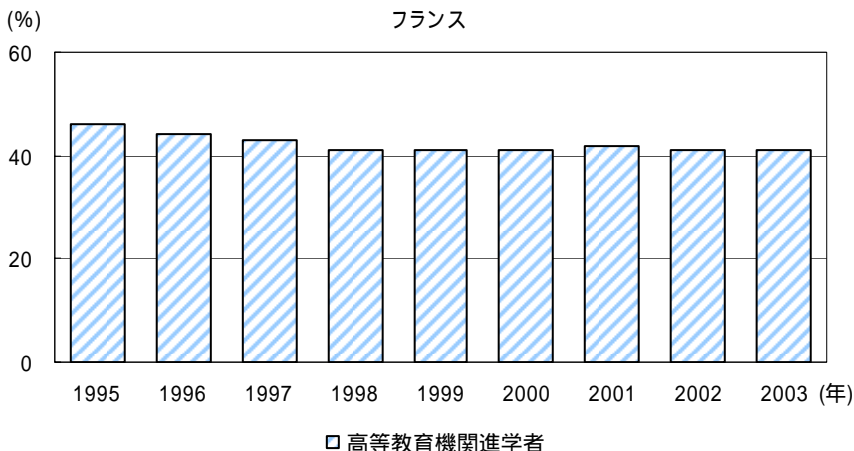
9 教育・能力開発



▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第9-1-3表 高等教育への進学率 イギリス(該当年齢18歳)」(p.219)参照。



▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第9-1-4表 高等教育への進学率 ドイツ(該当年齢19歳)」(p.219)参照。



▶ グラフの具体的な数値及び資料出所については、「第9-1-5表 高等教育への進学率 フランス(該当年齢18歳)」(p.220)参照。

高等教育機関への進学率を国際比較することは、教育制度が異なっているので簡単ではない(第9-2表の各国の学校系統図参照)。ただ、各国とも概ね安定して推移している。

日本についてみると、進学率は、ゆるやかに上昇している。アメリカについては1998年に60%を割り込んだがその後持ち直している。イギリスの進学率は急上昇しているが、これについては注意が必要である。1992年の継続・高等教育法により教育制度が改革された結果、大学が増加したため、進学率が急増したものである。ドイツの高等教育への進学率は諸外国に比べて低いが、ハウプトシューレや職業学校、職業上構学校など職業教育機関はここには含まれていない(第9-2-4表のドイツの学校系統図参照)。フランスの進学率の算出基礎となった数値は、複数の教育機関に登録されている者の数が未公表であること、通常の在学年齢以外の学生が相当数含まれているので、注意が必要である。